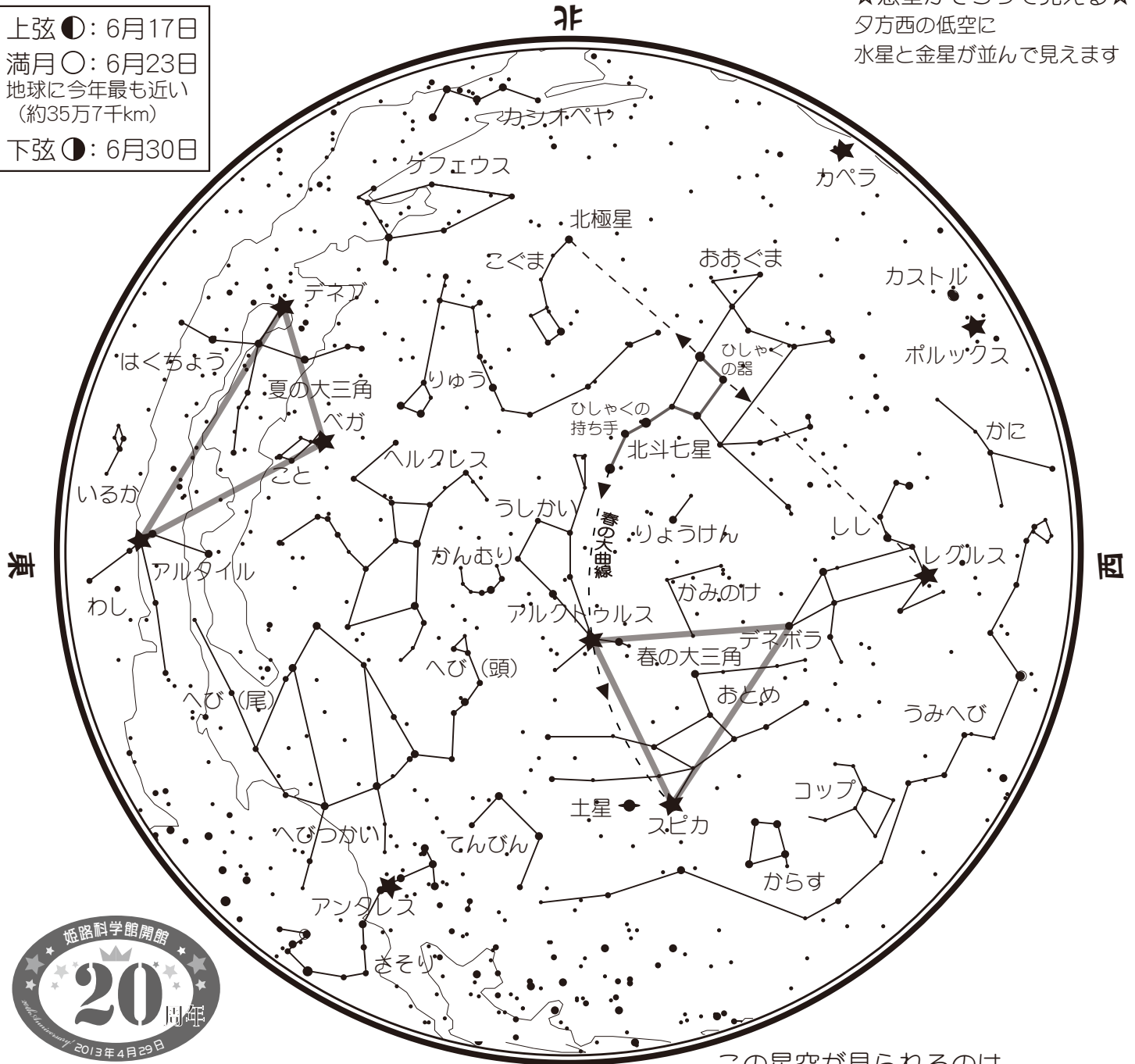


☆ 姫路で見る6月後半の星空 ☆

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図を見るときには見ている方位を下にして下さい。
★は一等星を表しています。
月はかいていません。

- ★土星が見ごろ★
夜9時頃南の空で
一等星スピカのそばに見えます
- ☆惑星がそろって見える☆
夕方西の低空に
水星と金星が並んで見えます

上弦☾: 6月17日
満月☉: 6月23日
地球に今年最も近い
(約35万7千km)
下弦☾: 6月30日



2013 SPRING ►► SUMMER

この星空が見られるのは
2013年6月20日午後9時頃
7月 5日午後8時頃です

北西の空高くに見えるひしゃくの形「北斗七星」から春の星座を探しましょう。ひしゃくの器の星を使うと、北の方角を示す北極星や、しし座の一等星レグルスが見つかります。一方、ひしゃくの柄の部分のをばして「春の大曲線」を描くと、うしかい座のアルクトゥルスとおとめ座のスピカが見つかります。2つの星を合わせて「春の夫婦星」と言います。ここにしし座のしっぽの星「デネボラ」を加えると「春の大三角」ができあがります。

東の空はすっかり夏模様です。中でもひとときわ明るいのは、七夕の織姫星(こと座のベガ)です。彦星は天の川の向こう岸に輝くわし座のアルタイルです。七夕の星に、はくちょう座のデネブを加えてできる「夏の大三角」も探してみましよう。